

生活文化局に寄せられた都民の声と対応事例（令和元年 9 月分）

<文化> DANCE TRUCK TOKYO 足立市場公演について

9月22日に足立市場で実施されたDANCE TRUCK TOKYOの音が大きくうるさかった。こうしたイベントは、小さな子供が寝る時間である8時以降や、近隣に住民がいるような場所でやらないでほしい。

【説明】

このたびは、御不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ございませんでした。

当該イベントは、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて、東京を文化の面から盛り上げ、芸術文化都市東京の魅力を伝える取り組み「Tokyo Tokyo FESTIVAL」のスペシャル13事業の1つです。

DANCE TRUCK TOKYOは、日常空間にトラックが現れて、普段劇場に足を運ばない方にも、ダンスや音楽など様々なパフォーマンスを気軽に楽しんでいただくというコンセプトのもと実施しています。

足立市場での公演につきましても、近隣の皆様へ事前周知をさせていただいておりましたが、ご意見を踏まえまして、今後の公演の実施にあたっては、なお一層、周辺的环境に配慮するよう努めて参ります。

何とぞ、御理解くださいますよう、よろしく願いいたします。

<文化> 都民の日について

「都民の日」はなぜ10月1日なのか。

【説明】

このたびは、都民の日についてお問い合わせいただき、ありがとうございます。

明治22年に誕生した東京市は、当時、京都、大阪の2市とともに、市制特例という法令によって市民の市政参加への道が大きく制限されていました。

この自治の制限に対し、市民により市政参加の道を広げようとする運動が粘り強く続けられた結果、明治31年に市制特例は廃止され、同年10月1日には、市会によって選ばれた市長をもつ新しい東京市が誕生しました。

その後、この新しい東京市誕生の歴史と自治の大切さを自覚しようという願いを込めて、昭和27年に条例で、10月1日が「都民の日」と定められました。

例年、都民の日には都立施設の無料公開や記念行事を実施しており、実施概要は広報東京都や東京都公式ホームページなどでお知らせしています。